

VirtualBox を利用した MateriAppsLive!の導入

2017年7月1日

東大物性研 ソフトウェア高度化推進チーム

1. VirtualBox のインストール

<https://www.virtualbox.org/wiki/Downloads> から最新の「VirtualBox」をダウンロード・インストールしてください。

2. MateriAppsLive!のインストール

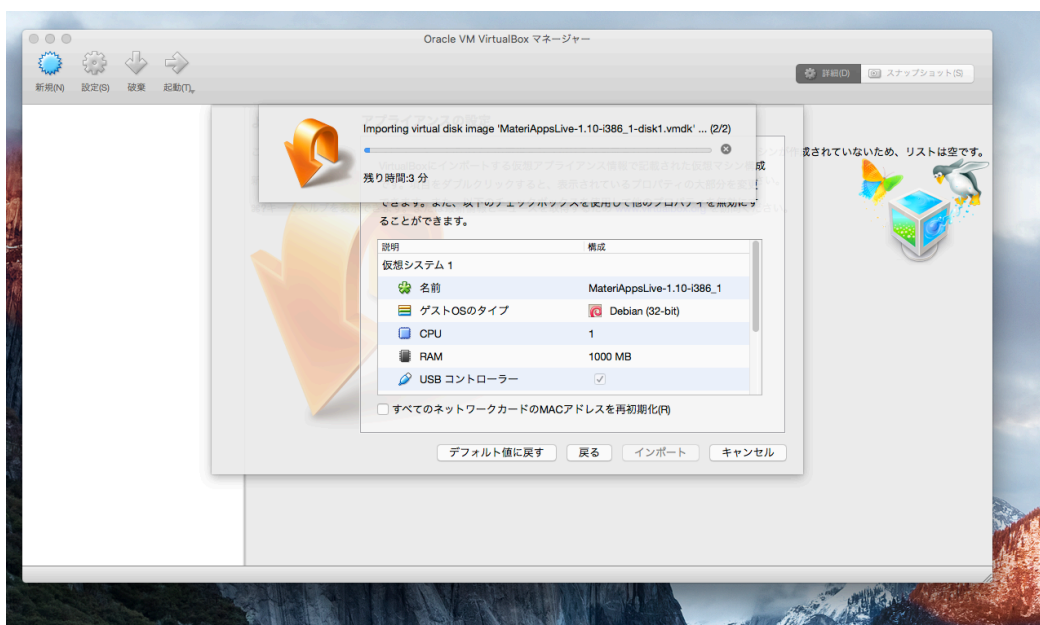
<https://sourceforge.net/projects/materiappslive/>

から最新版の MateriAppsLive! (***.ova 形式のファイル)をインストールしてください。

3. VirtualBox へのインストール

① ダウンロードした ova イメージをダブルクリックしてください。

② 「インポート」を選択すると、インポートが開始されます。



4. VirtualBox 共有フォルダの設定

- ① インポート終了後、Oracle VM VirtualBox マネージャーで MateriAppsLive を選択し、「設定」を選択します。
- ② 「共有フォルダー」タブを開き、右側の「+」（新規共有フォルダーを追加します）をクリックします。
- ③ 「フォルダーのパス」の右側の「v」をクリックし、「その他」を選択。共有したいフォルダを選択します。
- ④ 「自動マウント」をチェックし、「OK」を選択します。
- ⑤ 仮想マシンを起動すると、③で選択したフォルダが、`/media/sf_...` の下に見えます。

5. 起動確認

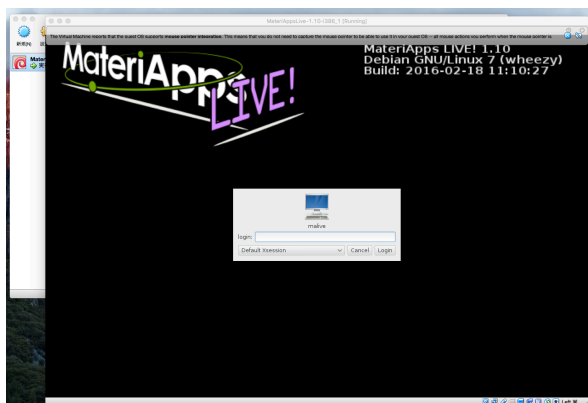
- ① MateriAppsLive-1.11-i386_1 をダブルクリックしてください。



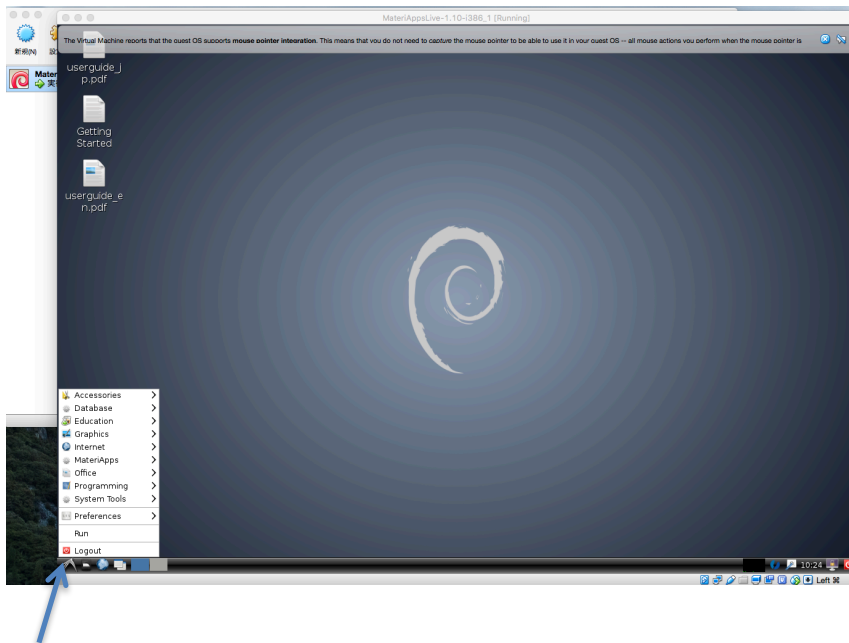
- ② MateriAppsLive-1.11-i386_1 をダブルクリックしてください。しばらくすると下記の画面が表示されます。

login: user、Password: live

としてログインしてください。



- ③ 「Accessories」 - 「LXTerminal」を選択してください。



左下のマークをクリックすると「Accessories」、Internet が表示されます。

④ 日本語のキーボードの使用

```
$ setxkbmap -layout jp
```

とタイプし「enter」キーを押してください。